

令和7年度 第14回

強度行動障害支援者養成研修講座

実践研修

募集要項

厚生労働省基準 愛知県知事指定



〒478-0047 知多市緑町 12-1
知多市市民活動センター 1階
TEL0562-33-1631 FAX0562-33-1743

学 則

- ア 研修事業者の名称、指定番号、所在地及び電話番号
特定非営利活動法人地域福祉サポートちた(愛障133号)
愛知県知多市緑町12-1 知多市市民活動センター1階 TEL:0562-33-1631
- イ 研修の種類 強度行動障害支援者養成研修(実践研修)
研修の名称 第14回強度行動障害支援者養成研修実践研修
- ウ 研修の目的
基礎研修を修了した者で、強度行動障害を有する者に対し、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的として行われるもの
- エ 研修の実施方法 対面
- オ 実施場所 講義・演習
7/5(土)、6(日) メディアス体育館ちた 大会議室 (〒478-0047 愛知県知多市緑町5)
- カ 実習施設 なし
- キ 募集期間 2025年5月7日(水)～2025年6月27日(金)まで
- ク 研修実施日及び修業期間
実施日 2025年7月5日(土)、6日(日) 修業期間 2ヶ月以内
- ケ カリキュラム及び使用する教材
カリキュラム(別添1)、使用する教材・・・強度行動障害のある人の「暮らし」を支える
(特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修)中央法規出版
- コ 講師氏名及び担当科目
別添1の通り
- サ 研修修了の認定方法
講義 (全出席と感想レポートの提出)
演習 (全出席と感想レポートの提出)
上記の講義、演習をみたした者については、修了証書及び修了証明書(携帯用)を交付する。
- シ 免除科目 なし
- ス 受講資格 ①+②または①+③
① 強度行動障害支援者養成研修基礎研修修了者であること
② 知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「3年以上」従事した者であり、かつ指導者的立場にある者
③ (行動援護ヘルパーとして従事予定の方)知的障害者、精神障害者、障害児の直接支援業務に「1年以上」従事した者

セ 受講定員

強度行動障害支援者養成研修実践研修 40名

ソ 受講手続

- ①「受講申込書」、「基礎研修修了証の写し」を郵送にて提出 提出期限(2025年6月27日(金) 必着)
(電話・FAXでの受付は行っておりません。ご了承ください。)
- ②受講が可能になった方へ受講料の入金先をメールまたはFAXにてご連絡いたします。
- ③受講料の入金確認後、受講確定となります。

タ 授業料、実習費など受講者が負担すべき費用

授業料 23,000円(税込) ※テキストが必要な方は別途3,520円(税込)

メールまたはFAXにて入金先をご連絡いたします。振込期限(2025年 6月 30日(月))までにご入金をお願いいたします。振込期限までに入金がない場合はキャンセルとさせていただきます。

入金後のキャンセル料について

(1) 研修開始日の7営業日前まで	0%(但し、振込手数料はご負担いただきます。)
(2) 研修開始日の6営業日前から前々営業日まで	1,000円 (振込手数料: 当社負担)
(3) 研修開始日の前営業日	受講料の50% (//)
(4) 研修開始日以降	受講料の100% (//)

※営業日につきましては、下記「ト」をご覧ください。

チ 研修欠席者に対する補講の方法及び補講に係わる費用などの取扱い

原則として補講は行わない。但し、やむを得ない事情と認めた場合はサポートちた主催で修業年限内に開催する講座で補講ができるものとする。

ツ 修了証明書を紛失・毀損した場合の再発行の取扱い

紛失・毀損した時点で、サポートちたへご連絡ください。賞状型修了証、カード型修了証、それぞれ各1通につき1,100円(税込)の再交付手数料をいただきます。

テ 研修修了者名簿について

研修修了者名簿は、「特定非営利活動法人地域福祉サポートちた」において原本は管理され、その写しを、愛知県知事に提出される。

ト 研修の延期・中止等の不慮の事態における養成研修の継続及び苦情等に対する対応等

申込状況によっては不開講又は延期になる場合があり、不開講の場合は全額返金、延期の場合は、受講生の申し出によって受講料を全額返金するものとする。その際の振込手数料はサポートちたが負担する。

この講座に対する苦情等は、特定非営利活動法人地域福祉サポートちたで対応いたします。

連絡先 TEL : 0562-33-1631 FAX : 0562-33-1743

E-mail : spchita@ams.odn.ne.jp

担当者 高熊 仁美

営業時間 月～金 9:00～18:00 (土日祝は定休日)

台風及び雪等による警報が発令されたる場合

7時に警報が出ている場合：午前の講義は中止、10時に警報解除された場合：午後の講義を開始

☆講座中止になった場合は、別日程で開催

【使用テキストに関する注意点】



※実践研修では、上記のテキストを使用しますので、基礎研修で購入された方はご持参ください。

強度行動障害のある人の「暮らし」を支える
強度行動障害支援者養成研修[基礎研修・実践研修]テキスト
2020年11月20日 発行

【改定前テキスト】



第2版



第3版

令和3年3月以前に基礎研修を受講された方など、改定前のテキストをお持ちの方は、別途購入していただきます。受講申込書にてお知らせください。

日程	時間	科目名	科目番号	時間	講師氏名
1日目 2025年 7月5日(土)	9:10～	受付 オリエンテーション			事務局
	9:30～ 11:30	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)支援を組み立てるための基本	12111	2	林 大輔 (社福)大府福祉会 たくと大府)
	休憩(10分)				
	11:40～ 12:40	強度行動障害がある者へのチーム支援(講義)組織的なアプローチ	12111	1	出口 晋 (NPO法人ゆめじろう)
	12:40～ 13:10	強度行動障害と生活の組み立て(講義)チームによる支援の実際	12112	0.5	
	昼 休 憩(60分)				
14:10～ 17:20	障害特性の理解とアセスメント(演習) 休憩10分含む	12211	3	神田 健司 (NPO法人あい) 稲生 直幸 (社福)愛光園 ひかりのさとファーム)	
2日目 2025年 7月6日(日)	9:30～ 12:40	環境調整による強度行動障害の支援(演習) 休憩10分含む	12212	3	土肥 克也 (NPO法人PakaPaka) 藤原 達也 (社福)みはま福祉会 セルプアゼーリア)
	昼休憩(60分)				
	13:40～ 15:10	記録に基づく支援の評価(演習)	12213	1.5	奥山 善仁 (株式会社あいぼ) 小濱 麻美 (一般社団法人みずなぎ)
	休憩(10分)				
	15:20～ 16:20	危機対応と虐待防止(演習)	12214	1	小濱 麻美 (一般社団法人みずなぎ) 奥山 善仁 (株式会社あいぼ)
	～16:30	まとめ 修了式		12	

1日目6.5時間 2日目5.5時間

講師一覧

別添様式3
2025.4現在

講師氏名	現職、保有資格、実務経験	担当番号、担当科目名	
林 大輔	現職 (社福)大府福祉会たくと大府	12112	強度行動障害の生活の組み立て
	資格 社会福祉士 介護福祉士 介護支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 27年	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
(専任・兼任)			
出口 晋	現職 (特)ゆめじろう 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 介護福祉士 介護支援専門員 □	12213	記録に基づく支援の評価
	相談支援専門員	12214	危機対応と虐待防止
	経験 31年	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
(専任・兼任)		12211	障害特性の理解とアセスメント
神田健司	現職 (特)あい	12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
	資格 ホームヘルパー2級	12211	障害特性の理解とアセスメント
	強度行動障害支援者養成研修(指導者研修)	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	経験 19年8か月	12214	危機対応と虐待防止
(専任・兼任)			
土肥克也	現職 (特)PakaPaka 理事長	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 社会福祉士 介護福祉士	12213	記録に基づく支援の評価
	経験 21年	12211	障害特性の理解とアセスメント
		12111	強度行動障害がある者へのチーム支援
(専任・兼任)			
奥山善仁	現職 (株)あいぼ	12213	記録に基づく支援の評価
	生活介護サービス管理責任者	12214	危機対応と虐待防止
	放課後等デイサービス支援員		
	資格 精神保健福祉士、介護福祉士		
経験 21年			
(専任・兼任)			
小濱麻美	現職 (一社)みずなぎ	12214	危機対応と虐待防止
	看護職員、介護職員	12213	記録に基づく支援の評価
	資格 介護福祉士、看護師		
	経験 15年		
(専任・兼任)			
藤原達也	現職 社会福祉法人みはま福祉会	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	資格 強度行動障害支援者養成研修 (指導者研修)		
	経験 31年		
(専任・兼任)			
稲生直幸	現職 (社福)愛光園	12212	環境調整による強度行動障害の支援
	ひかりのさとファーム	12214	危機対応と虐待防止
	資格 介護福祉士	12211	環境特性の理解とアセスメント
	経験 18年		
(専任・兼任)			

令和7年5月吉日

受講生の皆様へ

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた
担当：高熊 仁美

強度行動障害支援者養成研修講座（実践研修）課題提出について

このたびは強度行動障害支援者養成研修実践研修にお申込みいただきましてありがとうございます。実践研修においては、支援現場の経験をふまえて、障害のある人への支援内容を自ら組み立て、チームに指示を出す人たちを想定しています。強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）で学んだ内容を確認するため、下記の課題を提出していただきます。

記

・Kさんの事例①②をもとに冰山モデル※を作成し、受講申込書と一緒に提出してください。

申込書と同時に提出していただくことが難しい場合は、課題のみ後日提出していただいても構いません。（提出期限 **6/25（水）** 厳守）

※冰山モデルとは、自閉スペクトラム症の人の課題となっている行動を氷山の一角として捉え、氷山の一角に注目するのではなく、その水面下の要因に着目して支援の方法を考えること。

・白紙のワークシートをご使用ください。

以 上

〈お問い合わせ先〉

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 担当 高熊 仁美

〒478-0047 知多市緑町 12-1 知多市市民活動センター1階

TEL：0562-33-1631

FAX：0562-33-1743

事例について①

Kさん（28歳）知的障害を伴う自閉スペクトラム症

課題になっている本人の行動

Kさんは、入所施設で暮らす知的障害を伴う自閉スペクトラム症の男性です。

入所して1年が経った頃、食事の時間に課題がみられるようになりました。食卓の環境が自分と他者のエリアの境界があいまいな為、同じ食卓の人のおかずを食べてしまうのです。その度に職員から言葉で注意されますが、何が悪かったのかよく理解できません。また、食事の終了時間は決まっていますが、Kさんにとってはいつ食堂から出られるのか見通しが持てず、不安な様子がみられました。

次第にKさんは食堂に入ると泣くようになりました。なんとか職員がなだめてしばらくは食事ができていましたが、やがて食事の時間が来ると手を噛んで泣き叫ぶようになってしまい、本人の興奮が収まらないことで、数名の職員で本人の行動を止める事態になりました。

事例について②

本人の特性		
コミュニケーションの障害	理解が難しい	言葉で伝えても理解することが難しい。 ジェスチャーや物を見せると理解できることがある。
	発信が難しい	言葉での表出はない。物を指でさすなどの動作が見られる。
社会性の障害	人や集団との関係に難しさがある	周囲の状況や他者への関心が薄く、あまり自分から人に関わっていくことはない。
	状況の理解が難しい	自分の持ち物や場所と人のものとの境界が分からない。
想像力の障害	自分で予定を立てることが難しい	先の見通しをもって行動することが難しい。 タイマーで「終わり」は理解できる
	変化への対応が難しい	変更の苦手さがある。自己流のやり方から抜け出すことが難しい
感覚処理	感覚が敏感または鈍感	人が集まり、騒がしい場所では耳ふさぎをすることが見られる。